

信頼と実績で半世紀

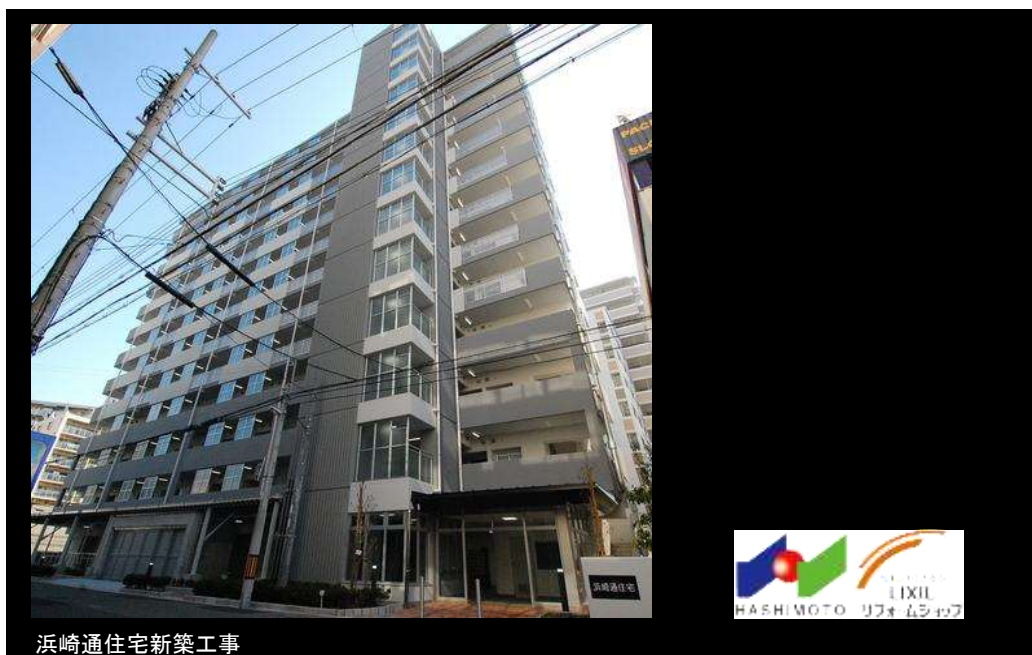


おかげさまで
創業50年

橋本建設株式会社

2016 年度 環境経営レポート

(対象期間：2016年10月1日～ 2017年9月30日)



浜崎通住宅新築工事



発行日： 2017年11月15日
更新日： 2018年2月7日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
これまでの環境活動の紹介	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

□ごあいさつ



橋本建設株式会社は、平成27年5月よりエコアクション21への取り組みを開始し、今年で3年目を迎えます。今回の報告書では、平成28年10月～平成29年9月の1年間で行った活動をまとめています。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社の経営目標の一つである「技術品質の向上」に沿って、社員一同発展向上を図り、地域社会に貢献するとともに環境問題にも全社一丸となって取り組み、環境負荷の低減と事業の発展を両立させる建設活動に努めます。

<環境保全への行動指針>

- 一． 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 1. 電力及び自動車燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 2. 排水量の削減
 3. 廃棄物排出量の削減

- 二． 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 1. 環境に配慮した製品の提案
 2. 事務用品のグリーン購入

- 三． 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。

- 四．
 1. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。
 2. 作業所における環境負荷の低減を徹底するため、環境パトロールを実施します。

制定日：2015年5月1日

改定日：2017年11月1日

橋本建設株式会社

代表取締役 **橋本 道明**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

橋本建設株式会社
代表取締役 橋本 道明

(2) 所在地

本 社 兵庫県神戸市兵庫区大開通7丁目1番21号
資材倉庫 兵庫県神戸市西区岩岡町岩岡842-22

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 橋本 和典 TEL:078-575-0166
担当者 花輪 宏美 FAX:078-577-6807

(4) 事業内容

建築工事業、土木工事業

(5) 事業の規模

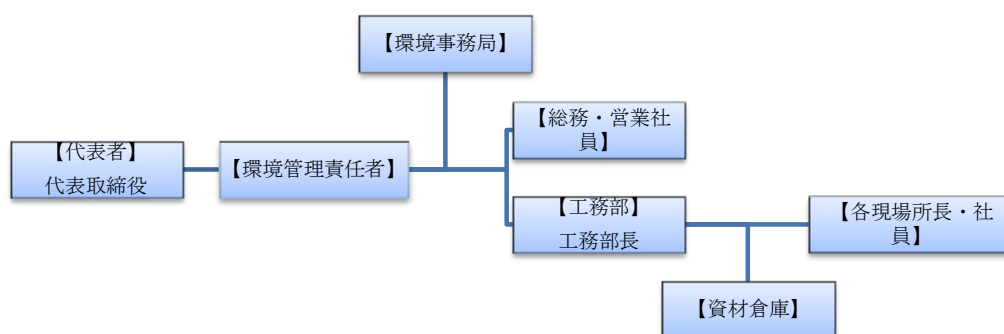
売上高		112500 万円		
		本社	資材倉庫	合計
従業員	名	17 名	無人	17 名
延べ床面積	m ²	628 m ²	253 m ²	881 m ²
敷地面積	m ²	150 m ²	1300 m ²	1450 m ²

(6) 事業年度

10 月 1 日 ～ 9 月 30 日 呼称:2016年度(2016/10～2017/9)

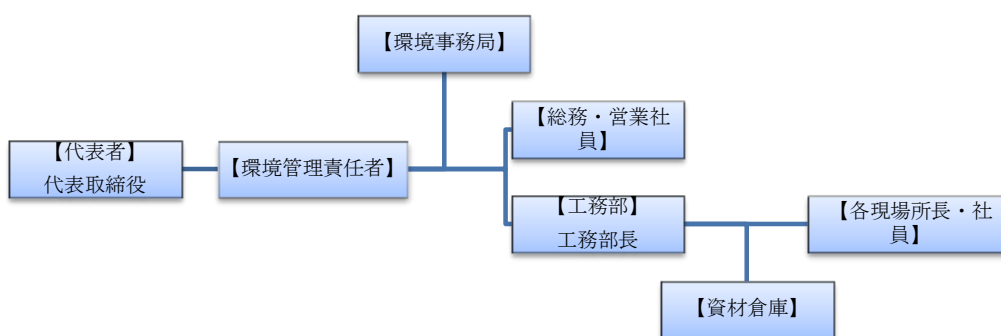
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 橋本建設株式会社
対象事業所： 本 社
資材倉庫
活 動： 建築工事業、土木工事業
組織図：



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2017年1月9日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年 (基準年)	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	32049	-	20698	27307
廃棄物排出量	t	189	-	305	681
一般廃棄物排出量	t	1	-	1	1
産業廃棄物排出量	t	188	-	304	681
総排水量	m ³	458	-	231	236

※二酸化炭素排出係数 0.522 kg-CO₂/kWh 電力会社の実排出係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2016年		評価	年度環境目標	
		(基準年 2013年)	(目標)	(実績)		2017年	2018年
電力(事務所)の削減	kWh	21,997	21,337	21,002	○	21,117	20,897
	kg-CO ₂	11,482	11,138	10,963		11,023	10,908
	目標達成率	-	-	102%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	ℓ	5,885	5,767	4,180	○	5,708	5,650
	kg-CO ₂	13,663	13,390	9,706		13,253	13,116
	目標達成率	-	-	138%		97%	96%
【参考値】二酸化炭素排出量合計(電力+ガソリン)	kg-CO ₂	25,145	-	20,669	-	-	-
一般廃棄物の削減(事務所)	kg	480	418	367	○	418	413
	目標達成率	-	-	114%		87%	86%
建設副産物のリサイクル率の向上	%	0%	6%	71%	○	60%	61%
	目標達成率	-	-	1191%			
水道水の削減	m ³	221	210	236	×	210	208
	目標達成率	-	-	89%		95%	94%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	%	74%	80%	62%	×	80%	81%
	目標達成率	-	-	77%			
環境に配慮した工事の推進	%	17%	21%	30%	○	22%	23%
	目標達成率	-	-	143%			

※軽油は使用量が微小のため、環境目標には含まない。

※建設副産物リサイクル率の根拠 再生利用量486.27t÷発生量680.56t×100=71%

※グリーン購入比率の根拠 グリーン購入¥180,766÷事務用品全体¥293,537×100=62%

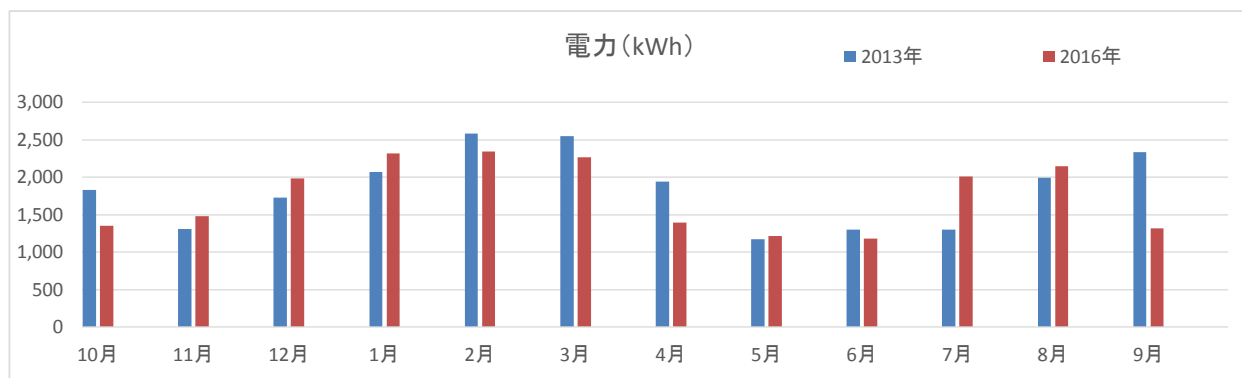
※環境に配慮した工事比率の根拠 環境配慮工事20件÷リフォーム工事67件×100=30%

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

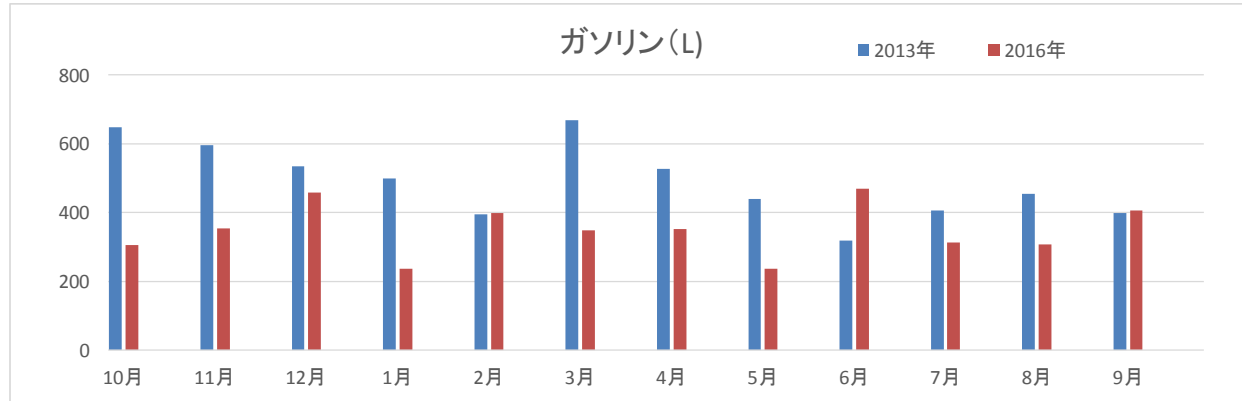
電力(事務所)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○ 達成率 102%	事務所照明LED化の効果もあり、目標はほぼ達成した。次年度はハード面からの効果が期待できない分よりソフト面の徹底に力を入れ、特に負荷の大きい空調負荷をさらに低減できるようにする
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		
・不要照明の消灯		
・パソコン、コピー機の省電力設定		
・クールビズ、ウォームビズ等服装の工夫による冷暖房の使用抑制		



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2013年	1,827	1,307	1,727	2,066	2,586	2,546	1,940	1,175	1,303	1,303	1,992	2,334
2016年	1,350	1,478	1,988	2,317	2,341	2,262	1,395	1,217	1,179	2,006	2,150	1,319
kg-Co2	705	772	1,038	1,209	1,222	1,181	728	635	615	1,047	1,122	689

※二酸化炭素排出係数 0.522kg-Co2/kWh

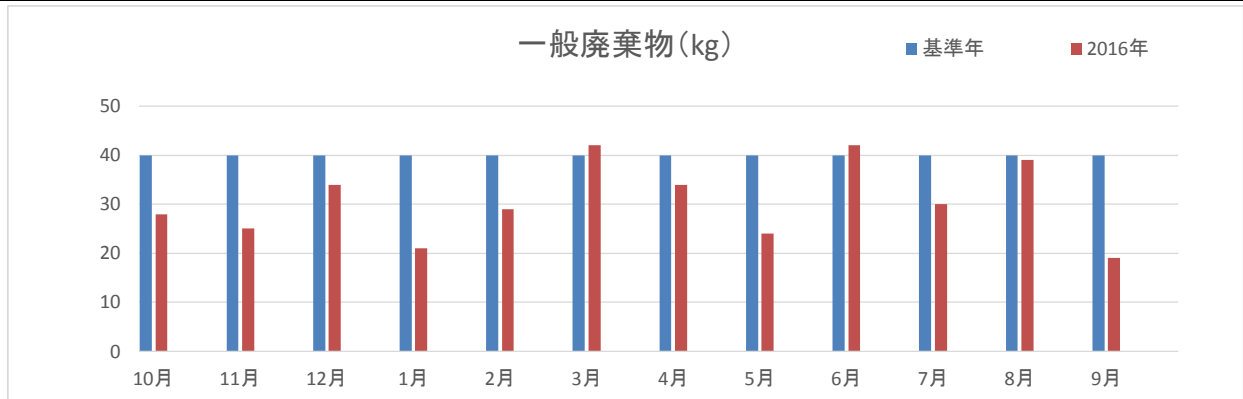
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○ 達成率 138%	現場が近郊ばかりであったため、目標を達成できた。次年度もこの傾向のため、さらに低減できるよう、公共交通機関の利用を推進していく。
・タイヤの空気圧チェック		
・公共の交通手段の利用		
・アイドリングストップ		



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2013年	648	596	534	500	394	669	527	440	318	406	455	398
2016年	305	353	458	236	398	348	352	236	469	313	307	405
kg-Co2	709	820	1,062	547	925	807	818	549	1,088	727	713	941

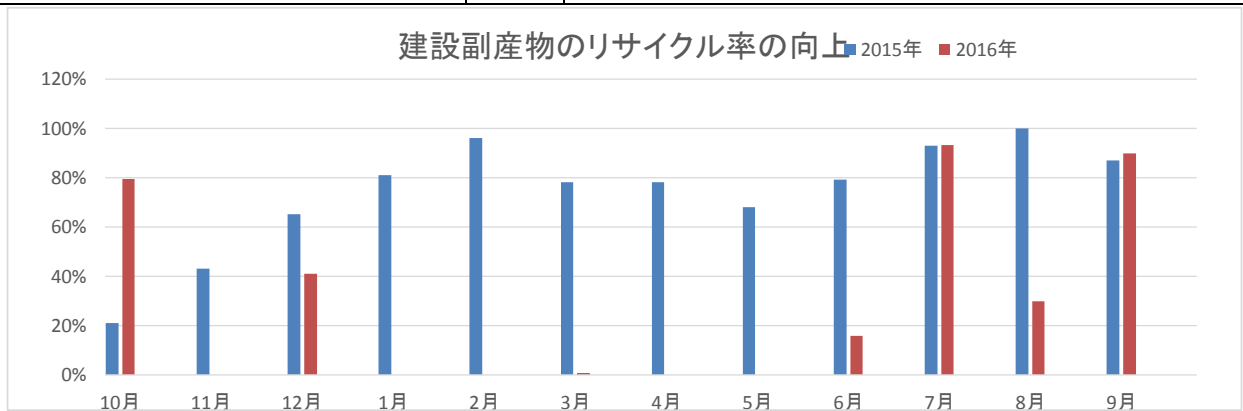
※二酸化炭素排出係数 ガソリン2.32166

一般廃棄物の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○ 達成率 114%	単月では未達もあったが累計では毎月達成できた。全般としては良好。
・分別(古紙・缶・ペットボトル等)の徹底		
・リサイクル率アップ		
・コピー用紙の裏面利用		
・書類等の電子データ化		



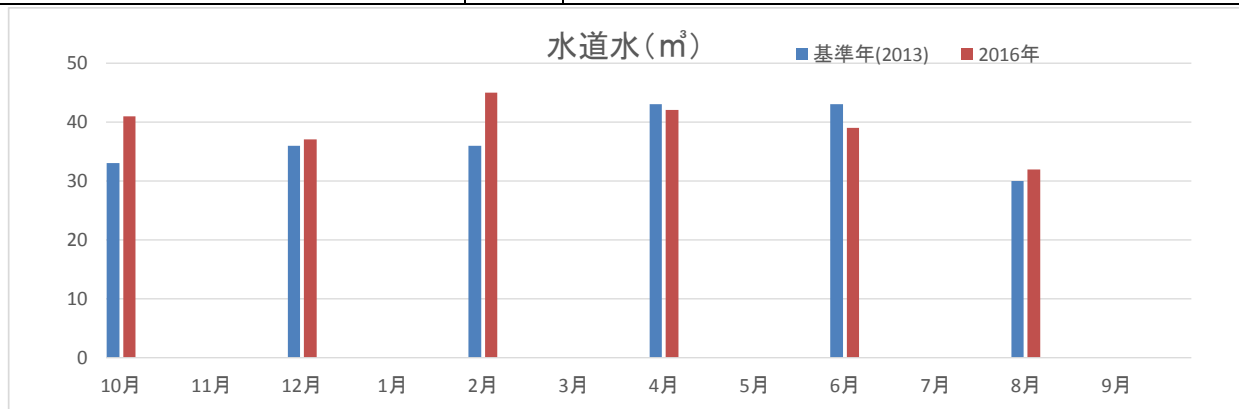
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準年	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
2016年	28	25	34	21	29	42	34	24	42	30	39	19

産業廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○ 達成率 1191%	最終的には目標達成、更なるアップを目指す。
・現場混合廃棄物の減量		
・木材・金属・段ボールの分別によるリサイクル率アップ		



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2015年	21%	43%	65%	81%	96%	78%	78%	68%	79%	93%	100%	87%
再生率	79%	0%	41%		0%	1%	0%	0%	16%	93%	30%	90%
2016年	156.50	0.00	0.27	0.00	0.00	0.18	0.00	0.00	1.70	87.11	5.84	234.67

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	× 達成率 89%	目標未達。2016年度は目標変更みなおし、ハード面での対策も計
・節水ポスター掲示		
・水道の節水(手洗い、洗車、洗い物)		
・現場での散水、水洗い時の出しっ放しをしな		



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準年(2013)	33		36		36		43		43		30	
2016年	41		37		45		42		39		32	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	× 達成率 77%	未達のため、目標を見直す
・事務用品グリーン購入比率向上		
・グリーン購入手順書の掲示		

※建設副産物リサイクル率の根拠 再生利用量486.27t÷発生量680.56t×100=71%

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
断熱窓の設置	○ 達成率 143%	ほぼ前年並み実績、次年度は製品の提案をより積極的に行う。
高効率給湯器の設置		
高断熱浴槽の設置		
節水トイレの設置		

※グリーン購入比率の根拠 グリーン購入¥180,766÷事務用品全体¥293,537×100=62%

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無


法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物処理法	マニフェストの保管、報告	遵守しました
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、積載物のはみ出し、安全運転管理者等	遵守しました
建設リサイクル法	解体工事の届け出	遵守しました
騒音規制法	特定建設工事の届け出	遵守しました
振動規制法	特定建設工事の届け出	遵守しました
消防法(危険物)	消火器の設置、有効期限の確認	遵守しました
フロン排出抑制法	空調機器の簡易点検、記録の保管	遵守しました
神戸市災害時における応急対策業務に関する基本協定	災害時緊急出動	要請はありませんでした
建築基準法	石綿含有建材、クロルビリホス添加建材の使用禁止。ホルムアルデヒドに関する建材、換気設備の規制。	遵守しました
建築物省エネ法	工事着手予定の21日前までに床面積300㎡以上の新築、増改築は「建築物エネルギー消費性能確保計画」を提出	遵守しました

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去5年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 9月21日	■実施場所: 本社
■参加者: 工務部全員	■実施内容: ・予防措置の確認、通報手順および避難経路の確認
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 工務部定例会議にて「火災対応手順書」の読み合わせを行い、手順を確認した。	

緊急事態の想定: 地震等災害の発生	
■実施日: 6月30日	■実施場所: 本社、中央区「みなとの森公園」
■参加者: 工務部: 橋本、系谷、上岡、角石、梅中、岡山、一ノ瀬	■実施内容: ・災害発生時の出動訓練
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
出動状況、服装、装備等も問題なく、早朝からの訓練であったがきびきびとした行動がとられ、大変良好であった。	
■実施状況の様子	

□これまでの環境活動の紹介



7/4 明石川河川敷清掃ボランティア

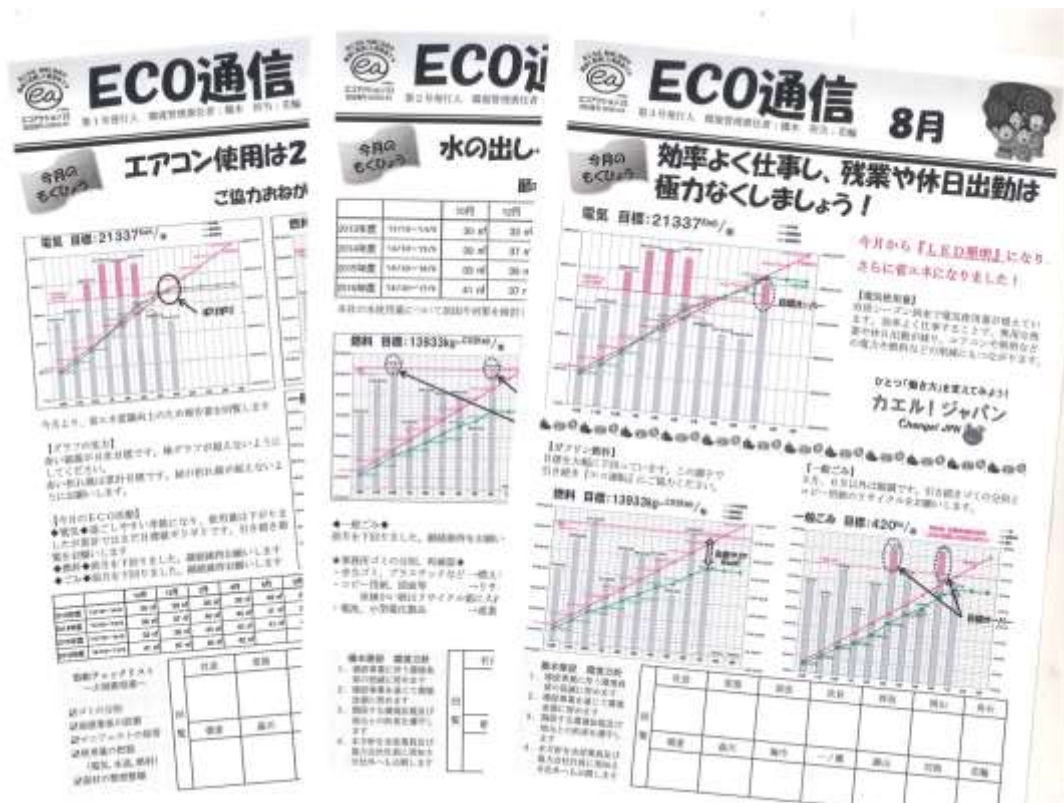
□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2017年11月15日

社員の環境意識も徐々に向上し、未達成の項目もあるが、全体として概ね満足できる結果が出た1年であった。実績データの積み重ねもでき問題点もはっきりしてきている項目もあり、具体的な負荷低減を今後検討していく。ただし、工事が増加しているにもかかわらず、各作業所の環境負荷低減が作業所にゆだねられているだけのため安全パトロール時に環境パトロールも実施する等、作業所環境負荷の低減にも力を入れていく。

代表取締役 橋本 道明

□環境コミュニケーション



隔月で発行される社内報「ECO通信」